



の | み | が | わ

2023年3月7日発行（通算第109号）

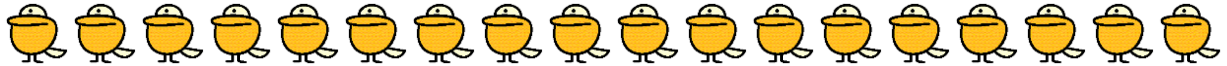
連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8

発行 呑川の会 代表 高橋 光夫

呑川の会 e-mail: mitsuo.takahashi@nifty.com

呑川の会 HP <http://nomigawanokai.net/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>



「春の都市河川ウォーク！」

－ 野川源流とハケの道ウォーキングのお誘い －

国分寺崖線の下に湧水がしみだしている地形をハケというが、この地形を生かした名勝・殿ヶ谷戸庭園を先ず散策し、残念ながら日立中研の野川最源流の大池は今春公開中止ですので、武蔵国分寺公園で花見昼食休憩です。そこからは崖線沿いのハケの道を湧水の湧き出る場所を巡りながら武蔵小金井駅まで楽しいコースを散策します。（公開中止と桜開花時期の影響で開催日を変更します。）

* 集合日時：3月25日（土）10時 中央線 国分寺駅 改札口

* 散策：歩程 約6キロ、（会費：500円）

* 解散：中央線 武蔵小金井駅 15時

連絡先：090-7568-7275 白石

* 天候：午後から小雨予報は決行（午前雨は中止）雨天時は、翌26日（日）に変更

* コース：国分寺駅→殿ヶ谷戸庭園 WC→武蔵国分寺公園（昼食・WC）→真姿の池

→お鷹の道→ハケの道→新次郎池→貫井神社・池→滄浪泉園→武蔵小金井駅



—洗足池小学校の呑川探検— 令和5年2月16日実施

(記：森 巖)

3年生 71 名が 6 班に分かれ、呑川の会から 15 名が参加し、先生、保護者の皆さんと、一緒にガイドと交通整理にあたりました。9 時半から 12 時まで、出穂山地蔵、街道碑、東工大、石川神社脇、境橋、から呑川上流部、呑川緑道公園、そして下流へと、ほぼ例年通りのコースで実施されました。事前学習として、約 30 分間、高橋代表から体育館で (写真)、スライドを使って全体の説明をして、スタートしました。

当日は快晴で、東工大の高台からは、雲ひとつない青空に、見事な富士山が映えて (写真)、一同、大喜びでした。今回も気温はかなり低く、上流部にはオナガガモ、コガモ、カルガモなどが多く見られました。下水処理水が暖かいので、この辺りにカモ類が集まることや、糞が餌の藻の緑色であることなど、児童たちも現場を見て、実際に実感できたようです。また流速測定では、島畑橋から川面中央部に木片チップを落とし、一本橋までストップウォッチで測りました。ある班では、200mで、3分57秒、流速は、50.6m/分 (時速 3.04km) でした。それから途中、ユスリカの捕虫器や桜並木を見て、最後に石川橋緑地で、清流復活の碑や呑川幹線排水取り入れ口を見学して、帰校の途に着きました。

今回は、ほぼ全児童から 68 の質問をもらい一人一人に回答しました。また事前に「呑川の会」としてガイド養成の目的で下見の会を催し、13 名の参加がありました。そして本番では、数名、初ガイドにトライしてくれました。また学生 2 名、森岡さん (学芸大学)、石崎さん (立命館大学) の参加もあり、全員お揃いの「呑川ジャケット」で決めることができました。終了後、コロナも少し収まってきたこともあり、久しぶりに 10 名程が中華屋さんで、昼食を一緒に取り懇談しました。その中で、**学生 2 人が呑川の会に入会**してくれるというサプライズもありました。こういう若い世代と一緒に活動できることは本当に嬉しい限りで今後の小学校ウォークが大変楽しみです。(追記) 青木会員からの報告で、東工大校内に、「ワグネルの池」という呑川の源流があるそうです。次回は、是非、そこを見学してみたいと思いました。



体育館での事前学習



東工大校内の高台からの富士山

—第22回エコフェスタワンダーランド—

In 池上会館 & ON-LINE 体験型イベント：2月12日開催 （記：松本 秀雄）

大田区第22回エコフェスタ（オンラインと会場を含む）は、入場制限下で3年ぶり開催でした。

* 2月12日（日）：10時～15時（ポスターコンクール表彰式、体験型イベント、環境講座）
今回のエコフェスタは大田区環境ビジョン3つのゼロの一貫。今回はプラスチックごみゼロが主眼。
呑川の会は、今回、体験型イベント（10:30-12:00 12:30-14:00）に参加。地域の子供達に喜んでもらうべく、カワセミクラフト作りをメインに行いました。カワセミクラフト造りはやはり人気で、たくさんの子供たちが色塗りや切り取りに夢中。また、子供さんだけでなく、親御さんも結構真剣に取り組んで共に喜ぶ姿が見られました。

（なお、プラスチック製ストローは、紙ストロー製へと変更しています。）

また、呑川に現れる親子ガモやカワセミ、ウナギを食べているカワウ、桜並木などの写真も展示し、丁度、ポスター展表彰式の後に各ブースを廻られていた区長への説明も行いました。当ブースでは終了間際まで親子連れが続き、区内各所から85名以上の方々が来られ楽しく過ごされていました。呑川の会としても、来年度はさらに磨きをかけた催しで臨みたいと思います。



新入会員の自己紹介 矢作 俊三

昭和25年生まれの、（やはぎ としみつ）です。
昨年の7月まで宮城県の南三陸町に移住していました。
大田区北嶺町に戻りたくなり、引っ越してきました。
小学校の時、呑川のそばの東調布公園でよく遊びました。呑川や周辺のことを学び、機会あるごとに地域の方々とふれ合いたいと思っています。よろしくお願いします。



高橋代表の「絵本の店、星の子」閉店

(記：南 弘元)

当会代表の高橋さんご夫妻が21年間に亘り、営業していました「絵本の店・星の子」を閉店しました。

代表ご夫妻にとっては、人生で大きな財産であり、宝物であったお店でした。

万感の思いでお店の事業は中止しましたが、今後は身体に最大限の注意を払いながら、彼女(奥様)を中心に、絵本や児童書の勉強会、わらべうたの講習会など、皆さまの要望の高かった行事は継続スタートさせました。



追記、閉店は、2022年12月27日の毎日新聞、朝刊東京版に報道されました(掲載写真)。

久原フェスタ開催、呑川の発表を見学

2月17日

(記：森 巖)

久が原小学校の独特の教育活動である「久原フェスタ」第19回を見学しました。昨年の6月に3年生153名と、一緒に呑川ウォークをして、その発表会でした。自分たちで調べ、人に伝えるために分かり易く整理し、工夫している様子が伝わってきました。外来種のこと、水質のこと、などスライドや、COD実験や、人形劇などで、一生懸命に説明していました。どのグループも最後のまとめで、「呑川をきれいにして生き物を増やそう！」と呼びかけていたことに感動しました。呑川の会としても、未来を担う子供たちのためにも、その責任は大きく、頑張っ活動していかなければと改めて思いました。

「せせらぎ公園の緑を守る会」の皆さん19名をガイドしました

(記：森 巖)

本門寺(公園)・呑川

平成4年11月27日(日)実施

昨年11月27日(日)の午後、上記の皆さんを、呑川の会から5名で、本門寺や呑川をガイドしました。きっかけは、やはり「わたしたちの都市河川 呑川」を見て、呑川に関心を持ち、実際に歩いてみたいということでした。この会は、田園調布せせらぎ公園の緑を守る活動をされている環境保護団体です。当日は好天に恵まれ、絶好のウォーク日和で、本門寺の紅葉が青空に映え、見事な景色でした。会員による「お宝」の場所も案内してもらい、また当日は、カルガモ、コサギ、セキレイなど多くの野鳥も見られ、普段目にする事ができない光景に、参加者も満足の様子でした。ノミガワスタジオとの「リンリン呑川ツアー」など、今後もいろいろな大人の団体とも交流ができていけばと思いました。

呑川の自然河床部（仲之橋～根方橋）清掃工事報告（記：橋本文興）

呑川の流域で「仲之橋～根方橋」は自然河床で、約120mは比較的静かな流れになり水深も30cm以上確保されています。また生き物も多く観察される場所です。

この「仲之橋～根方橋」の周辺の方からユスリカの発生、悪臭の苦情等があり区では対応を検討されていました。特にユスリカなどの生物が発生しにくい河床構造、重機での河床清掃を容易にできる構造（コンクリートによる嵩上げ改造）を想定していましたが、昨年行われた関係者との意見交換の上、今回の新たな工法を検討されました。

今回試験実施（予算化のため？）された工法はE00浚渫（底泥資源化工法浚渫）です。自然環境を守るためこの工法を採用されました。

1月17日～19日試験をされましたが今後も予定されるそうです。私見ですが、今回の現状を維持してのE00浚渫工法は、生態系への影響は少ないかもしれないが、（短期間の試験施工であったため）ユスリカ対策、汚泥除去の効果は、河床汚泥回収量等詳細検討の上、判断されるものと思われます。なお、汚泥分離改修設備は車両に搭載し、日々移動で進められました。



「第8回 呑川 鯉のぼり大会」

大田区の中心 池上に春の名物として評判！

池上本門寺参道・呑川 霊山橋～妙見橋間

*展示期間 5月2日(火)18時～7日(日)13時(予定)



鯉のぼり350匹：真鯉・緋鯉・子鯉・吹流し50匹

*池上小学校・池上第二小学校2年生 手作り鯉のぼり

2017～23年度(除く21年度)2年生 子供鯉のぼり300匹、展示

*主催：呑川の会 *協力：池上青少対・池上特別出張所

ゴールデンウィーク開催 恒例「呑川鯉のぼり大会」は8回目となり、両端に300匹の両校小学2年生の可愛らしい手作り鯉のぼり、真ん中に大きな布製鯉のぼり（真鯉・緋鯉・子鯉・吹き流し）を飾りつけ、霊山橋～妙見橋間で賑やかに350匹あまりの、鯉のぼりが呑川を泳ぎます。



1. 実施準備：①5月1日（月）9時半 池上特別出張所で新手作り鯉のぼり準備作業・修繕作業
②5月2日（火）12時より同上にて鯉のぼりをロープ取り付け作業
③ “ ” 17時頃から1時間、妙見橋にて、鯉のぼり吊り下げ作業
 2. 開催展示：①5月2日（火）18時～ 7日（日）13時
②5月7日（日）13時～ 妙見橋にて、撤収片付け作業（予定）
- * 今迄、鯉のぼり用の不織布は、三菱製紙(株)さんから無料で提供して頂いてきましたが、事情で今年度より工場出荷価格提供となり、1枚270円位が呑川の会の負担になりました。昨年の大田区報にも掲載され、春の名物として関心が高まってきましたので、会の重要行事の一つとして続けると決まりましたので、よろしくお願い致します。
-



「浄国橋から養源寺橋方面の十五夜の夜景」(2022年3月、田代会員撮影)



「日蓮橋と上堰橋の間の桜並木の紅葉」(2022年11月、田代会員撮影)



「養源寺橋と妙見橋の間でカワセミ」(2022年10月、田代会員撮影)

「呑川の会」当面の活動日程

(記：高橋 光夫)

* 「会場確保」のため変更することがあります。担当者からのメール連絡にご注意ください。

<p>「大田区生涯学習・呑川連続講座」</p> <p>2023年3月1日・8日・15日 (毎週水曜日) 14:00～16:00 (3月8日は別時間) 「池上会館」第2会議室</p> <hr/> <p>* 毎年好評だった「呑川連続講座」は、「5回連続」+「呑川ウォーク」の全6回という充実した内容で開催されてきました。 ところが「コロナ渦」で、その開催が無理になり、2020年から3年間は中止を余儀なくされました。</p> <p>このたび「大田区」の「区民協働・生涯学習担当」さまのご支援・ご協力を得て再開となり、感謝をしています。</p>	<p>「呑川連続講座」主要テーマ</p> <p>第1回 (3月1日) 「川沿いの自然を学ぶ」 (植物や生き物たち)</p> <p>第2回 (3月8日) 「呑川中流 ウォーク」 12:30～京急蒲田駅 出発 午後は14:30～16:00に講座 「呑川の全体像を知ろう」</p> <p>第3回 (3月15日) 「川と人の関わりを考えよう」 「振り返り」 (呑川の水環境は) (歴史の中の呑川)</p> <p>(*) 皆さんの関心が高ければ、「フォローアップ講座」を検討します。 (*)2 「おおた区報」による参加募集は定員を超え、抽選となりました。</p>
<p>「呑川の会・定例会」</p> <p>2023年3月16日(木) 13:30～16:00 「蒲田図書館」多目的室</p> <hr/> <p>* 「世話人会」は3月10日10時「ふれあい蓮沼」</p>	<p>「呑川ネットワーク連絡協議会・定例会」</p> <p>2023年3月28日(木) 10:00～12:00 「生活センター」グループ活動室</p> <hr/>
<p>「呑川の会・定例会」</p> <p>2023年4月15日(土) 10:00～12:00 「消費者生活センター」講座室</p> <hr/> <p>* 「世話人会」は 4月7日10時「ふれあい蓮沼」</p>	<p>「春の都市河川ウォーク」 — 野川源流とハケの道ウォーキング— 2023年3月25日(土) 10時「国分寺駅」集合</p> <hr/> <p>*雨天の場合 翌3月26日(日)に変更します。!</p>

(編集後記)

(記：森 巖)

1月に毎日新聞で報じられ、江戸川区の「古川親水公園」「新川」を見学してきました。地元の人達の根強い要望により、江戸川の水を取り入れ、ドブ川を清流に復活させた貴重な都市河川です。

呑川も是非、将来の子供たちのためにも、区民の皆さんと力を合わせて、少しでもきれいにしていきたいと思っています。皆さんのご意見、アイデアを「呑川の会」までお寄せ下さい。呑川をきれいで、生き物が暮らせる場所に、一緒にしていきましょう。
